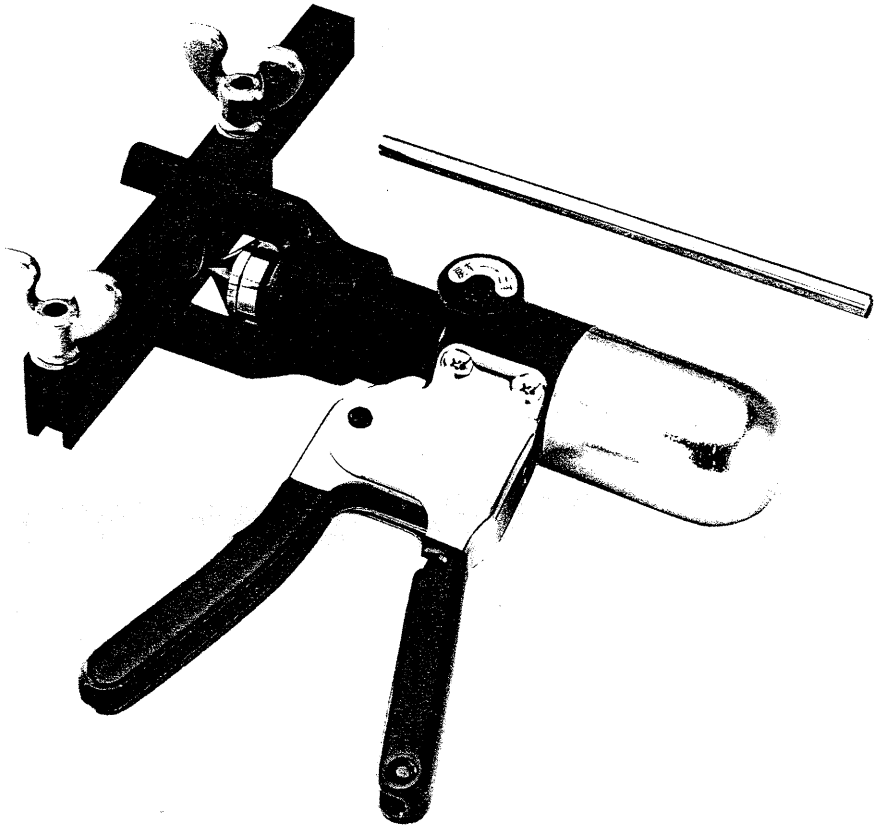


HOZAN

HYDRAULIC FLARING TOOL HA-220

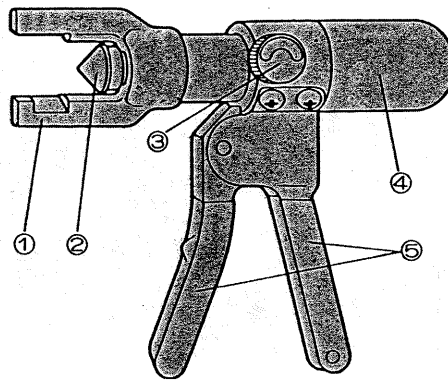
油圧フレアツール
取扱説明書



このたびはホーザン・油圧フレアツールHA-220をお買上げ
いただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、お読みになったあとも大切に保管してください。

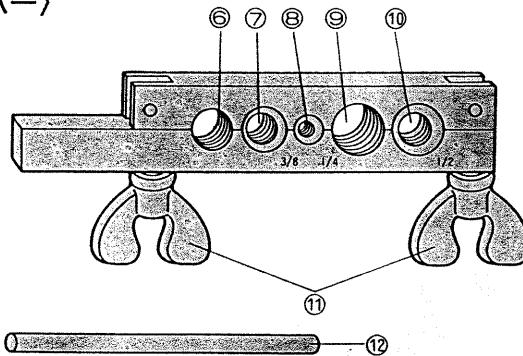
各部の名称

〈本体〉



- ①ヨーク
- ②コーン
- ③戻し弁
- ④オイルタンクキャップ
- ⑤ハンドル

〈クランプバー〉



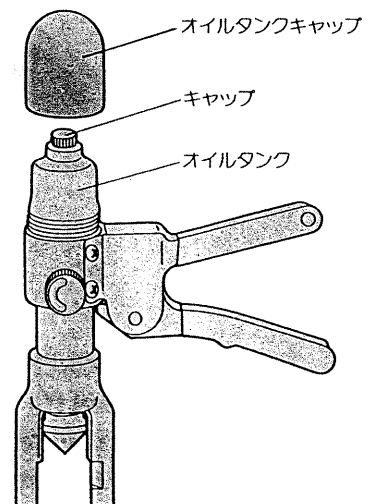
- ⑥ $\frac{3}{4}$ "用クランプ穴
- ⑦ $\frac{3}{8}$ "用クランプ穴
- ⑧ $\frac{1}{4}$ "用クランプ穴
- ⑨ $\frac{5}{8}$ "用クランプ穴
- ⑩ $\frac{1}{2}$ "用クランプ穴
- ⑪蝶ナット
- ⑫シャフト

仕様

適応鋼管外径	$\frac{1}{4}$ "・ $\frac{3}{8}$ "・ $\frac{1}{2}$ "・ $\frac{5}{8}$ "・ $\frac{3}{4}$ "
重量	2.03kg

ご使用上のご注意

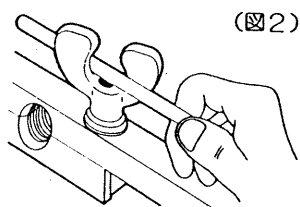
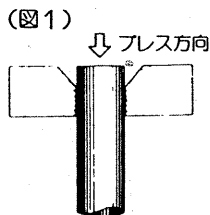
1. エアーの混入はほとんどありませんが、万一、エアーが混入するとハンドル操作が軽くなり、操作回数が多くなりますので「エア一抜き」を行なってください。
 - ① 図のようにタンク部を上にしてオイルタンクキャップを左へまわしてはずします。
 - ② キャップを抜き、戻し弁を「戻す」の表示方向に回してください。
 - ③ ハンドルを数回操作すると気泡が出ます。エアーが抜けると気泡が出なくなります。
 - ④ エアーが完全に抜けたのを確認して、純正油圧オイル(別売)を補充してください。
 - ⑤ キャップをして、オイルタンクキャップをはめてください。
2. 各連結部には、ときどき注油してください。
3. 油圧オイルは少なくとも2年に一度交換してください。この時ゴミやエアーが混入しないよう注意してください。
- ④ ホコリの少ない乾燥した場所を選んで保管してください。



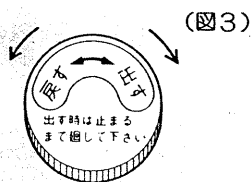
ご使用方法

- 1 フレア加工前にリーマーなどで銅管の切り口のバリ取りを行なってください。
〈注意〉バリ取りが不十分ですと、正しいフレア加工ができなくなりますので、バリは完全に除去してください。

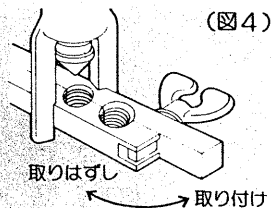
- 2 銅管をクランプバーの適合穴に、銅管の切り口がクランプバー面と同じ高さになるようにセットして、2ヶ所の蝶ナットでしめてください。(図1)
銅管に近い方の蝶ナットから締めつけると楽にしめられます。
〈注意〉蝶ナットは付属のシャフトで強く締めつけてください。(図2)
締めつけが弱いと銅管がずれることがあります。



- 3 本体の戻し弁を「出す」の表示方向に止まるまで回してください。(図3)
回し足りないと力が伝わらず、十分なフレア加工ができません。



- 4 銅管を取りつけたクランプバーを本体に挿入し、左(反時計回り)の方向に動かし、本体の溝に確実にクランプバーをセットしてください。(図4)



- 5 ハンドル操作を行ないフレア加工してください。

- 6 フレア加工終了後、本体の戻し弁を「戻す」の表示方向に回し、コーンを後退させてください。

- 7 クランプバーを右(時計回り)の方向に動かし本体からはずしてください。(図4)

- 8 2ヶ所の蝶ナットをゆるめ、クランプバーをひらいて銅管を取りはずしてください。

HOZAN

ホーザン株式会社

東京営業所 〒110 東京都台東区台東 1 - 10 - 7 TEL.(03)3834-5111
神奈川営業所 〒243-04 神奈川県海老名市国分南 3 - 3 - 13 TEL.(0462)34-7501
名古屋営業所 〒466 名古屋市昭和区鶴舞 2 - 16 - 23 TEL.(052)882-1341
大阪営業所 〒556 大阪市浪速区幸町 1 - 2 - 12 TEL.(06) 567-3111
福岡営業所 〒812 福岡市博多区美野島 2 - 3 - 9 TEL.(092)472-9151